

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	夏油高原まつり事業費補助金(事務局事務含む)			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060100 - 043	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	夏油高原の雄大な自然と澄んだ空気を全国にPRし、夏油高原地区への誘客を図る。夏油高原まつり運営事業費に対する補助金。6月新緑まつり、10月紅葉まつりを開催。チラシの作成、トレッキング・スタンプラリー等のイベントを開催。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	夏油高原まつり事業費補助金(事務局事務含む)	まつり実行委員会	夏油高原まつり運営事業に対する補助 ・新緑まつり1回開催・紅葉まつり1回開催 ・実行委員会数回開催	補助件数1件新緑まつり5/5、5/6開催、紅葉まつり10/6～21開催実行委員会7回開催

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	1,488	1,207	1,204	1,205	
人件費	1,340	976	1,602	2,843	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,828	2,183	2,806	4,048	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	夏油高原まつり(新緑まつり・紅葉まつり)来場者数	9,100人	11,400人	7,000人	15,500人	駐車場で車の台数等を基に算出
02	夏油高原新緑まつりの実施	2日間	2日間	2日間	2日間	5月上旬に夏油高原新緑まつりを行った。
03	来場者1人当たりコスト	310円	192円	400円	261円	

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	夏油高原紅葉まつりの実施	3日間	3日間	3日間	7日間	10月中旬に夏油高原紅葉まつりを行った。
05	まつり1日の費用コスト	566千円	437千円	561千円	450千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

スキー場を活用した定番のイベントとなり、夏油高原地域としての一定のPR効果はある一方、内容がマンネリ化してきている。

問題点・課題等

入込が天候に左右されるため、安定した集客となるような内容の充実や工夫が必要。PR開始が遅い。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

競合イベントが多く集客につながらない新緑を減らし、比較的集客が見込まれ、リフト券の売り上げにもつながる紅葉シーズンに注力するなど、選択と集中が必要。集中により内容を充実し、集客につなげる。また、事務局事務については北日本リゾートへの移管を検討。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了